

3 自己評価及び学校関係者評価結果

(1) 自己評価

<本年度の重点目標>

- ① 保育の計画性と職員間の共通理解をはかる。
- ② 教師との信頼感に支えられた生活の展開と幼児一人一人の特性に応じた指導をはかる。
- ③ 乳幼児の安全な生活、施設設備の安全管理に努める。
- ④ 教育の質の向上のために、園内研修や研修の充実をはかる。
- ⑤ 保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。
- ⑥ 地域との交流や、子育て支援事業の充実をはかる。

自己評価書 (教職員)

評価(A 十分達成された B 達成された C 十分ではない D 不十分である)

I 「教育及び保育の目標、計画性」について	評価点
<p>こども園になり3年たち、少しずつ1・2歳児の生活、保育の見通しができてきた。また今年はコロナ禍により、行事や保育についてもう一度見つめ直すことができ、職員で密に話し合うことができた。</p> <p>月案を考える時は、忙しい中でも子どもを振り返り、見直しながらやっているが、教育要領や教育課程についてじっくり見直すことができないので、来年度は考えていきたい。</p>	B
II 「幼児への対応」について	
<p>コロナ禍で、密を避けるということが大切だからと、活動が制限されることがあったが、こういう時代だからこそ新しいやり方等、考えていきたい。また、今までの保育の内容は必要なのか、ねらいはどうなのか、などいつも頭を柔軟にし、考えていく必要を感じている。</p> <p>子どもへの向き合い方は様々だと思うが、共通理解をもって保育に取り組んでいけばいいと常を感じている。</p> <p>コロナ禍で、より感染についてはみんなで考えることができ、園全体でも看護師から研修を受け、手洗いの大切さと、今の対策の再確認ができた。看護師が常駐していることで、けがや病気に対してスムーズに対応でき安心感があるが、頼りすぎないようにしていきたい。</p> <p>正規、非常勤職員関係なく、声を掛け合い確認しながら、保育をする意識を高めていきたい。どの保育教諭でも対応できるように、職員が共通理解できる機会、研修を設けていきたい。</p>	A
III 「健康及び安全」について	
<p>今年はコロナ禍があり、今まで以上に私達の仕事は命を預かっているという重大さを感じた。アレルギー児への対応は、とても神経を使うことで、担当が確認することがいちばん大切だが、今年度は、毎朝アレルギー担当の先生が朝礼の時確認してくれたことが、とても重要で助かった。</p> <p>遊具の使い方は、全員理解していたと思っていたが、人によって注意の声掛けが違っていたので、今後は徹底していきたい。</p> <p>朝、夕方の仲良しルームでの保育の時、人数確認がなかなか難しくなっているの、やはりその場に確認することができる名簿等、今後は必要だと思った。避難訓練に関しては、地震、火災、洪水、不審者と、いろいろなことを想定してやる事ができ、その都度、振り返りはやっていることがとても大切だと感じている。今後は、一つ一つを時間帯や場所を変え、職員がマンネリ化にならないようやっていきたい。</p>	A
IV 「保育教諭としての資質や能力、良識、適正」について	
<p>あいさつや保護者への対応など、当たり前のことがとても大切なことなので、職員の中でも気をつけるようお互いに意識し合ったり共有することに気がついた。今年は、コロナ禍で、研修が減ったり、他の園や学校等との訪問ができず、情報交換が思うようにできなかった。</p> <p>ただ、夏以降になるとリモート研修という今までとは違ったかたちで研修を受けられるようになり、良かった。今後もリモート研修が行われるようだったら、非常勤の職員等、大勢の人が参加できやすいと思うので勤めていきたい。</p>	A
V 「保護者への対応」について	
<p>保護者の意見には、常に耳を傾け、全職員で対応するよう心がけた。</p> <p>特に今年は、コロナウイルスに対しての対応に神経を使い、情報の発信内容や時間等、保護者にわかりやすく、また誤解のないように発信する大切さを感じた。</p>	

<p>様々な家庭環境、事情があるので、子どものことをしっかり話をするように丁寧に対応している。</p> <p>今年度は、保護者が園内に入る期間が少なくなってしまったので、来年度の課題である。</p> <p>なるべく、直接会って話をするようにしたが、どうしても2号認定児は直接話をする機会が少なくなるので、担任は必要な保護者には時間を合わせるなどして、丁寧に対応するようにし、おたよりポストだけににならないように心掛けたい。</p>	A
---	---

VI「子育て支援事業・地域との交流」について

<p>今年はコロナ禍のため、密を避けるということで、夏休みや3時以降も、各学年ごと保育をしたりしたので、教育時間後の保育のよさの異年齢での関わりが昨年度より少なかった。ただ、預かり保育というより、2号認定児が増えてきているので、今後は教育時間後の保育についてもう一度確認が必要だと思う。</p> <p>今年はコロナ禍のため、支援室開放やイベントは中止したりしたので、なかなか外部の人が利用できなかった。</p> <p>また、地域のイベントや、交流、学校との連絡会などもできなくて、残念だった。</p>	B
--	---

(2) 学校関係者評価

学校関係者評価書

I「教育及び保育の目標、計画性」について	評価
<p>こども園になって3年目ということで少しずつ見通しが持てるようになってきているということなので、焦ることはない。</p> <p>新人の先生も入ってきているので、スキルアップしていけば成長につながると思う。</p>	B

II「幼児への対応」について

<p>幼児に楽しんでもらいたいということを第一に考えてもらえていることはよく感じる。</p> <p>連絡など個々の職員に意識のばらつきがあるのはよくないので、クッションになる人が間に入るだけで変わらと思う。引継ぎノートとか、共通教育時間後の保育をする人が副担にするとかできるといいのではないですか。</p>	A
---	---

III「健康及び安全」について

<p>リモート研修でみんなで研修できたということではよかったということですが、リモートは、コロナ禍ではメリットになったことだと思う。時間の短縮にもなるので、もっと生かしたらどうか。</p> <p>行事等、人数制限するならリモート発信するのはどうか。保護者も、臨場感、ハプニング、ライブ感を感じたい。定点カメラを置いて配信するだけでもいい。</p> <p>DVDも、見返すことができるのでそれはそれでよかった。父母の会の会費から出してもいいと思う。</p>	A
---	---

IV「保育教諭としての資質や能力、良識、適正」について

<p>保護者のアンケートに情報が小出しになっているというのが気になった。今年は特にコロナ禍ということでなかなか手紙一つ出すにもタイミングが難しいのかもしれませんが、早めに出してほしいのではないのでしょうか。</p> <p>メールで知らせていることもあるようですが、公式LINEを作ってくれて発信していくのはどうか。スピーディーに新しい情報が保護者に伝えられると思う。</p>	A
---	---

V「保護者への対応」について

<p>コロナ禍で、支援室を少しでも開けてもらえたことはありがたかった。</p> <p>コロナが終息したら、今までの行事はやってもらえるのか。学校など行事がなくなってきているので、今までのことは続けてほしい。</p>	A
---	---

VI「子育て支援事業・地域との交流」について

<p>コロナ禍で、支援室を少しでも開けてもらえたことはありがたかった。</p> <p>コロナが終息したら、今までの行事はやってもらえるのか。学校など行事がなくなってきているので、今までのことは続けてほしい。</p>	B
---	---

<今後に向けて>

<p>今年は今までにないコロナ禍ということでいろいろ検討したということもわかってくださり、いろいろ評価をしていただいた。ただ、コロナだからできないのではなく、デメリットもあるけどメリットもあるという考え方で行けばいいという暖かなご意見をいただいた。</p> <p>また、職員の中で、共通理解をしっかり持つように、連絡を密にするにはどうしたらいいか今後の課題かとの指摘もあった。ただ、こども園になって3年目で見通しも持てるようになってきているので焦らず、若い職員のスキルアップをしていけばいいのではという意見もいただき、園としてもその辺が課題かなと思った。</p>
